

クラクフの伝説



CRACOVIA

WYDAWNICTWO WAM



WŁ. REYMONTA

AL. ADAMA MICKIEWICZA

Kochanowskiego
Czarna-
wiejska

KARMELICKA

Park
Jordana

Akademia
Gómiczo-Hutnicza

Oleandry
Irgardena

Czysta
Krup
Skarbowa
nicza

Raj-
ska
Szujskiego

Studencka
Kapucyńska

Kadrówki

3-go Maja

J. PIŁSUDSKIEGO

Nowy

Focha

Stadion
KS CRACOWIA

Kaluży

Smo-
leńsk
Retoryka

Świat

Fałaka

Kraszewskiego
Filarecka

Lowiecka

Syrokomil-
skiego
Moraw-
skiego

ZWIERZYŃCIECKA
POWIŚLE

Miasko
Prus-
sów
Salwatorska

Senatorska
Komorow-
skiego

Włoczków
Tatar-
ska

9
4
TADEUSZA

KOŚCIUSZKI

MOST
DEBNICKI
M. KONOPNICKIEJ
Zarkowa
Bulwar
Sando-
mierska
Poleski

Dębiki

TYNIECKA

Rynek
Dębnicki
Różana
Barska
Powroź-
nicza

Dział Droga

Dębicka
Gdańskiej
Opronców
Poczty

Zagrody
Szwedzka
Rolna

Skwerowa
Konfederacka
M. Batucie
Skwerowa

Pułaskiego
Wasilew-
skiego
J. Kiliń-
skiego
Zduńska

ROND
GRUNWAL

MONTE CASSINO

Wyrzana
Bulwarka
KRAKÓW
DĘBNIKI
Wierzbowa

バベル城の ドラゴンの伝説



西暦600年から800年の間に、クラクフの地は、スラブの一民族によって発見された。彼らが、クラクフを発見しそこに街を構築したことは、偶然ではなかった。なぜなら、遠い昔、人々は、常によりよい永住の地を探し求めていた。そしてそこは、心地よい暮らしの場所であるとともに敵からの侵略に対する防衛のしやすい場所であらなければいけなかった。彼らは、それらに最適な場所をビスワ川のほとりの広い高台に発見した。そこには、後にバベルの丘と呼ばれる高くそびえる石灰岩でできた丘があった。

民族の防衛を目的とする城がこの丘の上にすぐさま建設された。そしてその周辺に人々の生活の場となる、城下町も生まれた。当時のこの城に住む王様がクラクという名前であったことに由来して、現在この街がクラクフと呼ばれている。

今日では、バベルの丘は、私たちにとってそれほど高い場所であるとはいえないが、遠い昔、クラク王の城からは、街全体を見渡すことができた。高くそびえる丘の斜面には、多くの亀裂と深い穴、隠れた洞窟があった。その中のひとつの洞窟は、巨大なドラゴンの隠れ家であった。人々はその隠れ家の近くに居住するまでは、そこは、ドラゴンがすやすやと眠り食べ物を蓄えたりする暮らしの場所であった。ちなみに、このドラゴンは、放牧された家畜の群れがここに来たときに現れたといわれている。ともかく、ある日ドラゴンが街に現われて、毎日のように牛や羊をむさぼり食う姿が目撃された。さらにうわさによると、若くてかわいい純粋な娘たちを連れ去ったと言われている。ドラゴンがあまりにも恐ろしいので人々は、ついに家から出ることもできなくなってしまった。人々は、絶え間ない恐怖に襲われ、この街を去る準備を始める人さえいた。

クラク王は、自分がこのドラゴンを倒すことに成功しなければ、結果的に新しく見つけたはずのこの街を見捨て

ることになり、それは自分の築いてきたものを失うことにほかならないということに気がついた。そして彼は、国中のもっとも勇敢な騎士と勇士を呼び集めた。ドラゴンを倒すことができた者には、褒美として王の娘との結婚を許可することにしたのだ。歴史の記録には、何人がこの挑戦に挑んだか記されていないが、いずれにしてもドラゴンを征服することができた人物はいなかった。人々の恐怖は、日に日に増大した、その上、彼らは、ドラゴンが縦横無尽に家畜をむさぼり食い、若い女を連れ去る姿をただただ呆然と眺めるよりほかなかった。ある日、市民のために靴を作っている、若い見習いの靴職人が王様に会いに来た。言い伝えによると、彼の名はスクバだった。彼は、王様にどうしてもプリンセスと結婚したいので、自分は、ドラゴンを倒してみせると宣言した。そして、さらに彼は、ドラゴンとの戦いに挑むために、大量の硫黄そして羊の毛皮と油脂が必要であると王様に要求した。王様は、それらの品物をスクバが要求したとおりにそろえた。そしてその見習いの靴職人スクバは、作業場にこもり、せっせと準備を行った、羊の皮を縫い合わせ、硫黄を流し、油脂をその上から塗った。夜明け前に、彼は、王の護衛隊を招集して河岸に大量の羊の肉を運ぶのを手伝わせた。夜明けになると、ドラゴンはいつものように洞窟から現れて、用意された大量の羊の肉



をよろこんでほおぼった。おいしい羊の肉を与えられて、幸せなはずのドラゴンであったが、驚いたことに満腹の満足にひたる間もなく、火のついたような、燃えるような、恐ろしいおなかの痛みに襲われた。実は、硫黄は、ドラゴンの腸を燃やしてしまうためのものだったのだ。この燃えるような痛みを消そうとして、ドラゴンは必死でビスワ川



の水を飲み続けた。しかし、痛みは増すばかり、ついにドラゴンは、おなかが破裂するまで水を飲み続けてしまった。

クラク王は、ドラゴンがついに殺されたことを知り大変によろこんだ。そして見習い靴職人のスクバは、街に平和をもたらしたことで、市民から英雄としてもてはやされた。プリンセスも大変喜び興奮した。なぜなら彼女は、賢く機転の利く夫を持つことは良いことだと考えていたからだ。

今日に至っても、クラクフでは、難しく複雑な状況にも賢い解決策を見出す人のことをスクバと呼ぶ。これは、この見習い靴職人のスクバの名に由来するものである。現在でも、ドラゴンが残したものがある、スモチャヤマと呼ばれるドラゴンのねぐら、今は、亡きドラゴンの隠れ家である。バベル城の見学をする際に、その中に入ることも可能だ。ビスワの川のほとりがあるいたとき、ドラゴンの像を見ることもできる。クラクフの子供たちは、時折、火を噴出し、一番小さい子をこわがらせるこのドラゴンの像に夢中になる。バベルのドラゴンは、一番のクラクフ名物で、愛されるマスコットである。大勢の観光客は、ドラゴンのぬいぐるみを買って求める。

ドラゴンの隠れ家を見てから、その他のバベル城の見学が可能だ。バベル城、それは、ポーランド文化の宝庫であり、そしてポーランド人の誇りである。

目次

ようこそクラクフへ。この本は、古代から現代までのクラクフに関する10の伝説を紹介しています。ここでは、クラクフの歴史と人々の興味深い生活を知ることができます。本書と共に、魅惑の街クラクフをお楽しみください。



バベルの丘とビスワ川のほとり
バベル城のドラゴンの伝説 3



中央広場
聖マリア教会の2つの塔の伝説 9



中央広場と聖マリア教会の中庭
聖マリア教会のトランペットに
ついての言い伝え 13



ズビエジニェツ地区と中央広場
ライコニックの木馬の伝説 19



中央広場
クラクフ中央広場の鳩たち
の伝説 25



ヴィエリチカの岩塩採掘場
聖キングの指輪の伝説

31



バベル城とクラクフ大聖堂
鐘とその心についての伝説

37



カジミエーシュ
ユダヤの結婚にまつわる伝説

43



サルバトルの教会
貧しいバイオリン弾きと神の
慈悲

49



バベル城
チャクラム、ヒンドゥーの秘
密の石の伝説

55

1000年以上のときを経て、これらの伝説が、クラクフの魔法と魅惑の世界にみなさんをご招待いたします。ポーランドの心、それは、クラクフこの街の伝説から始まります。

伝説の伝道

ズビグニェフ・イバインスキ

Zbigniew Iwański

翻訳

モニカ・クビシェフスカ

Monika Kubiszewska

挿絵デザイン

アンナ・カシュバ・デンプスカ

Anna Kaszuba-Dębska

監修

ミハウ・ロジェック

Michał Rożek

レイアウト・地図

スワボミル・オニシュコ

Sławomir Onyszko

© Wydawnictwo WAM, 2007

ISBN 978-83-7505-021-9



The project has been realized
with the financial support
from the City of Cracow
www.krakow.pl

WYDAWNICTWO WAM

ul. Kopernika 26 • 31-501 KRAKÓW

tel. (+48) 12 62 93 200 • fax (+48) 12 429 50 03

e-mail: wam@wydawnictwowam.pl

SALES

tel. (+48) 12 62 93 254–256

fax (+48) 12 430 32 10

e-mail: handel@wydawnictwowam.pl

ONLINE STORE:

<http://WydawnictwoWam.pl>

tel. (+48) 12 62 93 260

Printed and bound by
Drukarnia Leyko



Cmentarz Rakowicki

Kleparz
Rękawki

Nowa Wieś

Piasek

Stare Miasto

Nowy Świat

Wawel

Stradom

Kazimierz

Ludwinów

Dębniaki
Ogródki działkowe

Zakrzówek

Podgórze

Łagiewniki





ようこそクラクフへ。この本は、古代から現代までのクラクフに関する10の伝説を紹介しています。ここでは、クラクフの歴史と人々の興味深い生活を知ることができます。本書と共に、魅惑の街クラクフをお楽しみください。

- 1、 (バベルの丘とビスワ川のほとり)
バベル城のドラゴンの伝説
- 2、 (中央広場) 聖マリア教会の2つの塔の伝説
- 3、 (中央広場と聖マリア教会の中庭)
聖マリア教会のトランペットについての言い伝え
- 4、 (ズビエジニエツ地区と中央広場)
ライコニックの木馬の伝説
- 5、 (中央広場) クラクフ中央広場の鳩たちの伝説
- 6、 (ヴィエリチカの岩塩採掘場) 聖キングの指輪の伝説
- 7、 (バベル城とクラクフ大聖堂) 鐘とその心についての伝説
- 8、 (カジミエーシュ) ユダヤの結婚にまつわる伝説
- 9、 (サルバトルの教会) 貧しいバイオリン弾きと神の慈悲
- 10、 (バベル城) チャクラム、ヒンドゥーの秘密の石の伝説

1000年以上のときを経て、これらの伝説が、クラクフの魔法と魅惑の世界にみなさんをご招待いたします。ポーランドの心、それは、クラクフこの街の伝説から始まります。

<http://wydawnictwowam.pl>

WYDAWNICTWO



KRAKÓW
rok założenia 1872

ISBN 978-83-7505-021-9



9 788375 050219

cena 15,00 zł